



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第72号
 発行人：小松香織
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

■ 3年ぶりの「山鉾巡行」に袴姿で歩く



新型コロナの影響で中止されていた山鉾巡行が、3年ぶりに举行されました。待ちに待った人々で賑わった山鉾巡行に、後祭では196年ぶりに復興した「鷹山」が花を添えることになりました。

鷹山は文政9年(1826)の大風雨で被害を受け「休み山」となっていましたが、元治元年(1864)の禁門の変で発生した大火により「鷹匠」、「犬飼」、「樽負」の3体のご神体などを焼失したため復興できずにいたものです。

また、私たち都草が支援する大船鉾も、金箔の施された「龍頭」がお披露目される一方、「鱸屋形下部の漆塗」、「極彩色の神獣彫刻がはめられた鱸幕板」、そして、何ととっても、体調不良の中、上村淳之画伯が3年前から取り組まれている

「四季花鳥画」の天井画が初めて公開されました。

また私事ではありますが、巡行において大船鉾の前を袴姿で歩くという栄誉を賜りました。大船鉾保存会の木村理事長からお話をいただいたとき、余りにも晴れがましく一瞬戸惑いましたが、これまでのボランティア活動が高く評価された証であり、お断りするとかえって失礼になると思い、ボランティアの代表としてお引き受けしました。当日はとても暑い日でしたが、都草発足当初から大船鉾の復興に携わり、保存会とともに築き上げてきた歴史を感じながら胸を張って歩くことができました。(専務理事 伊藤 義男)

■ 祇園祭 大船鉾ボランティアに参加して



2022年7月20日から23日の4日間、大船鉾でボランティアをさせていただきました。昨年に続き2回目ですが、今年は3年ぶりの山鉾巡行復活、加えて鷹山が196年ぶりに復興、さらに宵山・巡行が土日ということで非常に多くの方が鉾町にいらっしゃいました。

今回は4日のうち3日は16時半～21時半のシフトで、町内のお子さんたちのわらべ歌も聞くことができました。「ご信心の御方(おんかた)様は受けてお帰りなされましょう。常は出ません、今明明晩限り(宵宵宵山だったので)」の歌声に癒されました。

来場した方から「粽はどこに飾ればいいのか?」「お守りはどんなご利益があるのか?」「古い粽はどうしたらいいですか?」「屏風祭はどこでやってるのか?」など、様々な質問も受けました。各地から集まった都草のみなさまは、てきぱきとお客様

対応や粽やお札の授与、補充、鉾の拝観等々、活躍していました。

宵山にはほとんどの授与品もなくなり、最後はお囃子方が太鼓や鉦を叩き、笛を吹きながら鉾から降りてきて、そのまま日和神楽に出ていかれました。そのおかげもあって翌巡行当日は快晴で気温も上昇。その中、袴をつけた伊藤さんが鉾に供奉される晴れ姿を拝見することができました。前日までTシャツ姿で走り回っていたご町内のみなさんが、巡行の日はそれぞれに袴姿や浴衣姿で、見違えるほど凛々しく、その表情は誇りに満ち、見ている私は胸が熱くなる思いでした。暑くて大変な4日間でしたが、楽しく充実した4日間でした。(会員 津々木 佳子)

■ コミュニケーション研修に参加して



す。但し、よどまないように。

次に気をつけるのは、終わり方、つまり結語です。「皆さん、お母さんが支払った一文銭はどこから来たのでしょうか？」実は人は死ぬと六文銭を渡されます。(現在はお金を入れられませんので、紙に印刷した六文銭を棺に入れます) これは三途の川を渡るときの船賃です。飴を買ってはいけません。でも、このお母さんは自分の成仏を犠牲にしてでも子供に飴を与えたかったのですね。自分がお乳をあげられなかっただけに……。ここまです。結語です。本来は、結語のあとはだらだら話さないほうが、印象が薄まらずいいです。今回は余分な話を少しします。助け出された赤子はその後、立本寺の日審上人になったと言います。民話が史実で確認される珍しいケースだそうです。このときの立本寺は寺町今出川上ルにありました。(会員 田村 光弘)

❖ 塩見アドバイザーからのメッセージ ❖

初参加の方が多かったにも関わらず皆さん熱心に取り組んでくださいました。さすが、シニアにはたくさんの引き出しがあると改めて感動しました。お喋りは個性、自分らしさを磨いていただけたらと思います。

(理事 中島 孝和)

■ YouTube 動画公開にあわせホームページを改修



都草では今年3月にYouTube 動画「京都 都草のとおき」を公開しましたが、この動画を閲覧するための専用の欄として、活動内容に新しく「YouTube 公開動画」を設けました。これまでホームページにはYouTube 動画を見るための欄がなく、トピックス欄に掲載していました。動画は今後も制作を続けていく予定で、今年秋に第2回作品「水の都・京都」ができあがりました。今後はこちらから閲覧できるようになります。

活動内容ではさらに、「伏見深草支部」「丹波支部」「東京支部」を併せて「支部」欄にまとめました。また、都草だよりが閲覧できる「広報部会」は、「都草だより」に変更しました。ここ数年間活動がなく、更新も行われていなかった「調査研究部会」を廃止、これまで掲載されていた記事は「事務局」に移動しました。

上部の写真と活動内容の間に重要なお知らせ欄を設けました。お知らせがないときは表示せず、緊急の連絡事項や行事についての変更があったときなどに表示します。

さらに、毎年秋に行っている京都通模範試験と年2回開催している都草講演会について、ホームページから直接申し込むためのフォームを設けました。この2つの行事は会員以外の方も申し込むことができますが、従来のメール、FAXに加えてこのフォームからも申し込みできるようになりました。

ホームページには日ごろの会員活動の内容や今後の行事予定など、都草の活動が分かる沢山の情報が掲載されています。ぜひ活用をお願いします。

(副理事長 須田 信夫)

京都通模範試験	
京都通模範試験にお申し込みの方は下記項目にご記入ください。 都草会員・非会員・学生及び会場受験・自宅受験の選択をしてください。 都草会員の方は必ず会員番号をご記入ください。	
氏名 ※必須	(例) 新藤花子 (金)
ふりがな ※必須	(例) あやこはなこ (金)
会員区分 ※必須	☐ 会員 ☐ 非会員 ☐ 学生
会員番号 ※必須	会員番号 () 都草会員は記入してください
受験会場 ※必須	申込後変更不可 ☐ 会場受験 ☐ 自宅受験
郵便番号 ※必須	(例) 602-8570 (半角数字) 〒 () - ()
住所 ※必須	(例) 京都市上京区下立売通御所町入ル
電話・携帯 ※必須	(例) 075-451-8146 (半角数字)
E-mail ※必須	(例) info@myyaku-kyo.com (半角英数字)
E-mail (確認用) ※必須	確認のためメールアドレスを再度ご記入ください。
申し込み受付後、お申し込みのご住所に受験票、振り込み手続きの説明等を郵送いたします。 お申し込みから2週間以上経っても受験票が届かない場合や受験料は、返戻いたしますが都草ホームページの問い合わせフォーム、またはメール(info@myyaku-kyo.com)でお問い合わせいただけますようお願いいたします。	
注意事項	